



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 東京汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9193 URL <http://www.tokyokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齊藤 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 佐藤 晃司

TEL 045-671-7713

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,643	0.5	568	0.6	863	8.9	644	3.8
25年3月期第3四半期	9,590	2.4	564	30.4	793	17.3	620	53.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 790百万円 (23.1%) 25年3月期第3四半期 642百万円 (65.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	64.73	—
25年3月期第3四半期	62.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	23,282		17,881			73.6
25年3月期	22,960		17,240			71.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 17,127百万円 25年3月期 16,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	15.00	15.00
26年3月期	—	—	—		
26年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,544	△1.6	501	△17.2	794	△12.6	567	△7.6	57.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	10,010,000 株	25年3月期	10,010,000 株	
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	55,808 株	25年3月期	55,483 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,954,354 株	25年3月期3Q	9,955,720 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国経済は、円安・株高が進行し堅調な個人消費と公共投資の拡大に支えられ、景気は回復基調となりました。米国では緩やかな成長を維持しており、欧州や中国も景気に下げ止まりが見られませんが、インドなど新興国では通貨安で先行き景気減速が予想されております。

このような状況下、当社グループの売上高は9,643百万円(前年同期比0.5%増)とほぼ横ばいとなりました。営業利益は568百万円(前年同期比0.6%増)、経常利益は863百万円(前年同期比8.9%増)、四半期純利益は644百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

曳船事業

曳船事業は、横浜川崎地区は、曳船作業対象船舶のうちプロダクトタンカーの入出港数が増加し、秋口以降は自動車専用船が増加傾向となりましたが、コンテナ船の入出港数が減少いたしました。横須賀地区は、LNG船やタンカーなどの入出港数が高水準を維持したためエスコート作業は増加いたしました。湾口水先艇の作業料金値下げによる影響や、昨年度のような大きな海難救助作業がなかったことにより減収となりました。東京地区でも6月以降コンテナ船の入出港数が低調に推移しており減収となりました。

一方、千葉地区は石油精製各社による設備定期点検がありましたが、10月以降タンカーの入港数が持ち直し、大型の作業対象船舶が増加したことで増収となりました。

この結果、曳船事業セグメントの売上高は6,932百万円と前年同期に比べ71百万円減少したことに加え、燃料費が原油価格の値上りと円安で増加したことが響き、営業利益は501百万円(前年同期比10.9%減)となりました。

旅客船事業

旅客船事業は、横浜港における観光船部門では、みなとみらい線と鉄道4社との相互乗入れにより乗船客が増えたことや、顧客ニーズの取込みが奏功し増収となりました。

久里浜・金谷間を結ぶカーフェリー部門では、4月の強風と10月の台風による欠航が響きましたが、夏場や11月以降は天候に恵まれ、また、千葉県及び南房総自治体との連携による宣伝効果もあり各種イベントが好調で増収となりました。

この結果、旅客船事業セグメントの売上高は2,072百万円(前年同期比5.1%増)となり、燃料費の高騰がありましたが営業利益は前年同期に比べ57百万円増加し71百万円となりました。

売店・食堂事業

売店・食堂事業は、旗艦店である金谷センターでの団体客利用が低迷しましたが、カーフェリー船上での各種イベントや房総施設への商品売上が好調で増収となりました。

この結果、売店・食堂事業セグメントの売上高は637百万円(前年同期比3.6%増)となり、回復傾向は見られたものの固定費を賄いきれず4百万円の営業損失(前年同期は11百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、322百万円増加し23,282百万円となりました。これは主に、設備投資により船舶が706百万円増加し、長期預金の設定により300百万円増加しましたが、現金及び預金が915百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ、318百万円減少し5,401百万円となりました。これは、主に未払法人税等が286百万円減少し、賞与支給に伴い賞与引当金が161百万円減少しましたが、その他流動負債が189百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、640百万円増加し17,881百万円となりました。これは主に四半期純利益が644百万円となりましたが、剰余金の配当を149百万円実施したことにより利益剰余金が495百万円増加し、為替換算調整勘定が98百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の71.8%から73.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移しており、通期の連結業績につきましては、平成25年5月15日に公表いたしました発表数値から修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,226,879	7,311,757
受取手形及び売掛金	2,395,945	2,348,567
商品	23,240	30,206
貯蔵品	102,024	138,023
繰延税金資産	109,121	24,147
その他	273,296	357,196
貸倒引当金	△3,524	△3,779
流動資産合計	11,126,982	10,206,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	381,081	361,373
船舶（純額）	4,112,133	4,818,351
土地	1,435,628	1,435,628
その他（純額）	302,441	384,877
有形固定資産合計	6,231,284	7,000,231
無形固定資産		
無形固定資産	65,703	64,751
投資その他の資産		
投資有価証券	1,719,857	1,769,939
関係会社株式	1,986,330	2,147,645
繰延税金資産	191,167	172,944
その他	1,717,451	1,998,556
貸倒引当金	△78,177	△77,452
投資その他の資産合計	5,536,629	6,011,634
固定資産合計	11,833,617	13,076,617
資産合計	22,960,600	23,282,738

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,050,104	1,095,210
短期借入金	1,643,670	1,648,671
未払法人税等	290,078	3,468
役員賞与引当金	35,000	26,250
賞与引当金	217,532	55,772
その他	201,455	390,887
流動負債合計	3,437,840	3,220,259
固定負債		
長期借入金	67,199	62,031
退職給付引当金	1,195,581	1,142,995
役員退職慰労引当金	389,511	388,330
特別修繕引当金	364,842	338,410
繰延税金負債	161,835	159,974
資産除去債務	2,895	2,926
負ののれん	67,330	58,210
その他	32,606	28,489
固定負債合計	2,281,802	2,181,368
負債合計	5,719,643	5,401,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,500	500,500
資本剰余金	75,357	75,357
利益剰余金	15,918,324	16,413,386
自己株式	△40,294	△40,463
株主資本合計	16,453,887	16,948,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,151	227,192
為替換算調整勘定	△147,084	△48,467
その他の包括利益累計額合計	38,066	178,724
少数株主持分	749,003	753,605
純資産合計	17,240,957	17,881,109
負債純資産合計	22,960,600	23,282,738

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,590,729	9,643,101
売上原価	7,417,033	7,528,900
売上総利益	2,173,696	2,114,200
販売費及び一般管理費		
販売費	225,142	217,658
一般管理費	1,383,910	1,328,282
販売費及び一般管理費合計	1,609,052	1,545,940
営業利益	564,643	568,259
営業外収益		
受取利息	6,721	6,247
受取配当金	29,562	41,116
負ののれん償却額	10,316	9,119
持分法による投資利益	159,397	216,567
その他	46,277	42,872
営業外収益合計	252,276	315,923
営業外費用		
支払利息	20,736	19,349
その他	2,649	912
営業外費用合計	23,386	20,261
経常利益	793,533	863,921
特別利益		
固定資産売却益	77,468	57,404
受取補償金	89,807	—
投資有価証券清算益	—	6,593
特別利益合計	167,275	63,997
税金等調整前四半期純利益	960,808	927,919
法人税、住民税及び事業税	256,311	188,271
法人税等調整額	65,748	89,394
法人税等合計	322,059	277,666
少数株主損益調整前四半期純利益	638,749	650,253
少数株主利益	18,139	5,872
四半期純利益	620,609	644,380

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	638,749	650,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,893	42,112
持分法適用会社に対する持分相当額	2,012	98,616
その他の包括利益合計	3,906	140,729
四半期包括利益	642,655	790,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	625,114	785,037
少数株主に係る四半期包括利益	17,541	5,944

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,003,918	1,971,450	615,360	9,590,729	—	9,590,729
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,565	47,398	3,318	57,281	△57,281	—
計	7,010,483	2,018,849	618,678	9,648,011	△57,281	9,590,729
セグメント利益又は損失(△)	562,624	13,966	△11,947	564,643	—	564,643

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,932,853	2,072,737	637,510	9,643,101	—	9,643,101
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,004	50,306	3,314	56,625	△56,625	—
計	6,935,857	2,123,043	640,824	9,699,726	△56,625	9,643,101
セグメント利益又は損失(△)	501,141	71,577	△4,459	568,259	—	568,259

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。